

1. 実況上の着目点

① 500hPa では、サハリン付近に切離低気圧が
あってほとんど停滞。北日本～日本海には
500hPa で-39℃以下の寒気を伴ったトラフがの
び、北日本～東日本を中心に強い寒気が流入し
ている。21 時の秋田高層観測 500hPa 気温は
-43.7℃と秋田における今冬最低気温を観測し
た。地上ではサハリン付近に発達した低気圧が
あって西進。日本付近は下層寒気移流が強まっ
ており、北日本～西日本には 850hPa で-12℃以
下の寒気が流入している。北日本～西日本では
日本海側を中心に降雪が強まっており、日本海
寒帯気団収束帯（JPCZ）の指向先にあたる北陸地方では 3 時間に 15cm 前後の強い降雪の所があり、雷
も検知している。また、日本付近は、サハリン付近の低気圧と大陸から張り出す高気圧との間で気圧
の傾きが大きくなっている。全国的に風が強く、波が高く、低気圧周辺の北日本や東日本では雪を伴
った非常に強い風が吹き、猛ふぶきや大しけとなっている所がある。

② モンゴル付近には 500hPa 5100m 付近に-42℃以下の寒気を伴う寒冷渦があって南下している。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 6 日は、1 項①の切離低気圧及び地上の低気圧がサハリン付近にほとんど停滞し、日本付近への強
い寒気の流入が続く。日本海に形成された JPCZ は、夜にかけてやや北上するがほとんど停滞。北～西
日本の日本海側を中心に、強い寒気の影響で雪雲が発達し、降雪量が多くなる所がある。

② 1 項②の寒冷渦は、7 日は循環が弱まりトラフとして中国東北区から日本海に進み、8 日にかけて北
日本～東日本を通過する。トラフの接近・通過に伴って、7 日は JPCZ 上にメソ低気圧が発生し東進。
JPCZ は 7 日夜にかけてゆっくり南下する。また、7 日～8 日は北日本の 500hPa に-42℃以下の強い寒気
が再び流入する。JPCZ 周辺及びメソ低気圧周辺では大気の状態が非常に不安定となる。北日本や、東
日本～西日本の日本海側を中心に雷を伴って強い雪の降る所がある。北日本や、東日本～西日本の日
本海側を中心に降雪量が多くなり、普段雪の少ない太平洋側などの地域でも積雪となる所がある。

③ 北日本～西日本では 8 日にかけて、日本海側を中心に大雪による交通障害に警戒し、着雪やなだれ、
落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

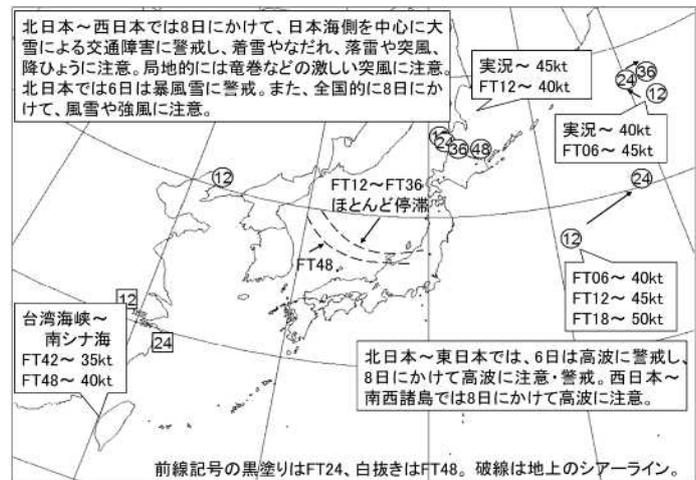
④ 日本付近は 8 日にかけて、①の低気圧や②のメソ低気圧及び JPCZ 周辺、大陸から張り出す高気圧
との間で気圧の傾きが大きい状態が続くため、広い範囲で雪を伴って風が強く、波が高い所がある。
北日本～東日本では日本海側を中心に非常に強い風が吹き、暴風雪となる所があり、大しけの所もあ
る。北日本では 6 日は暴風雪に警戒し、全国的に 8 日にかけて、風雪や強風に注意。また、北日本～
東日本では高波に 6 日は警戒し、8 日にかけて注意・警戒。西日本～南西諸島では高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06 時からの 24 時間)：多い所(100mm 以上)はない。② 降
雪量(06 時からの 24 時間)：北陸 80、東北 70、北海道・東海・近畿 50、九州北部 40、関東甲信・中国 20 cm。

③ 波浪(明日まで)：東北 7、北海道・北陸・伊豆諸島 6、近畿・中国 5、その他広い範囲で 3～4m。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雪と暴風雪及び高波に関する全般気象情報」を 5 時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図